

- 製品の仕様、付属品およびデザインは予告なく変更する場合があります。記載内容は2018年11月現在のものです。

スピーカーシステム WS-LA500AWP

■概要

- 本機は、複数台連結して使用する防滴仕様のラインアレイスピーカーです。広帯域再生、高い忠実再生をコンセプトにしており、スタジアム、野外劇場等の大空間、遠距離拡声に適しています。
- ハイには、ラインソースを放射するため、平面波ドライバー2個を縦に並べて位相をそろえた形で結合させ、新開発のウェーブガイドホーンを搭載。水平指向特性は、高い帯域（1.5 kHz以上）で約90°、垂直指向特性は、単体時において高い帯域（6 kHz以上）で約10°の指向特性を提供します。（垂直指向特性は、システムコンフィグレーションに依存します。）
- リギングシステムは軽量かつ高強度な素材で構成され、フライングにもグラウンドスタックにも対応しており、スピーカー連結時の角度は0°～15°まで1°ピッチで調整できます。
- 本機はバイアンプで駆動させます。これにより細かいチューニングや最適なパワーマッチングさせることができます。

■仕様

| | |
|------------|--|
| 形式 | 2ウェイバスレフ形 |
| 入力インピーダンス | ロー : 8 Ω ハイ : 8 Ω |
| 許容入力 | ロー : 160 W / 320 W (RMS ^{※1} / 連続プログラム) : 500 W / 2000 W (AES ^{※2} / Peak) ハイ : 80 W / 160 W (RMS ^{※1} / 連続プログラム) : 160 W / 640 W (AES ^{※2} / Peak) |
| 出力音圧レベル | ロー : 96 dB (1 m / 1 W, Typical, 自由空間) ハイ : 112 dB (1 m / 1 W, Typical, 自由空間) |
| クロスオーバー周波数 | 1 kHz |
| 周波数特性 | ロー : 70 Hz ~ 1.1 kHz (-10 dB, Typical, 自由空間) ハイ : 1 kHz ~ 19.5 kHz (-10 dB, Typical, 自由空間) |
| 入力端子 | コネクタ×2 推奨プラグ: NLT4FX (ノイトリック株式会社) |
| 使用スピーカー | ロー用 : 20 cmコーンスピーカー×2 ハイ用 : ドライバー×2 指向角度 : 水平 90°、垂直 10° ^{※3} |
| 外形寸法 | 幅794 mm 高さ258 mm 奥行き337 mm |
| 質量 | 約27 kg |
| 仕上げ | エンクロージャー : 木製(合板)、黒色半艶塗装(マンセルN1近似色) リギング金具 : 金属製(SUS304)、黒色半艶塗装(マンセルN1近似色) パンチングネット : 金属製(SPCC)、黒色半艶塗装(マンセルN1近似色) |
| 角度可変範囲 | 垂直下向き 0° ~ 15° (1°単位で設定可能) |
| 防水性能 | IPx4 |
| 使用温度範囲 | -20 °C ~ +60 °C |
| 設置 | グラウンドスタック : 最大、WS-LA500AWP×6台+WS-LA550AWP×2台 フライング : 最大20台(内サブウーハーは4台まで) |

※1 JIS C5532 : 2014 に規定された定格ノイズ電力

※2 AES2-1984 (r2003) に規定された Power-Handling

※3 垂直指向角度はシステムコンフィグレーションに依存

■付属品

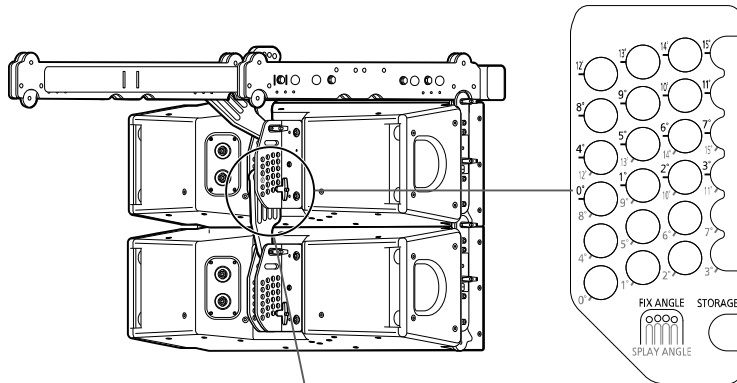
取扱説明書…………… 1冊 保証書…………… 1式

■スピーカーコネクターのピンアサイン

| コネクタピン番号 | 接続先 |
|----------|-----|
| 1+ | ロー+ |
| 1- | ロー- |
| 2+ | ハイ+ |
| 2- | ハイ- |

■スピーカー本体角度調整

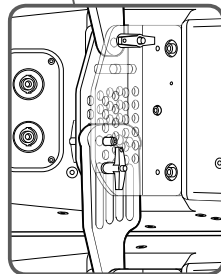
スピーカー本体とスピーカー本体の角度は、リアーヒンジの取り付けかたで決まります。
調整範囲：0°～+15°



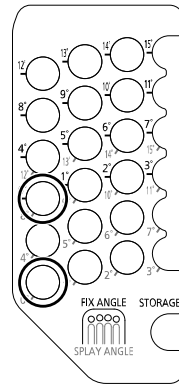
角度ガイドプレート

つり下げ時には角度ガイドの緑文字（SPLAY ANGLE）の角度を使用してください。
※黒文字（FIX ANGLE）の角度はグラウンドスタック時に使用

0°に設定する場合

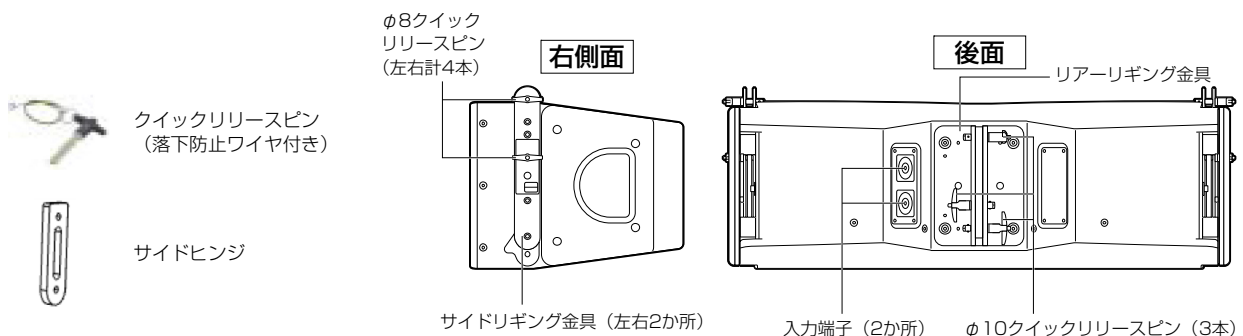


リアーヒンジとリアーリギング金具の0°の穴をそろえてクイックリリースピンを差し込む。

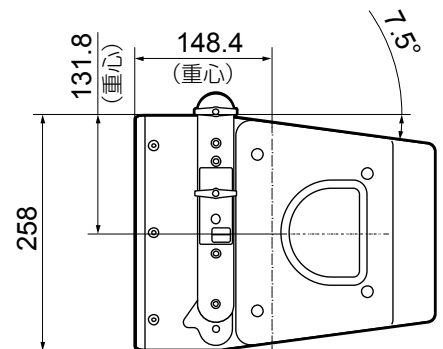
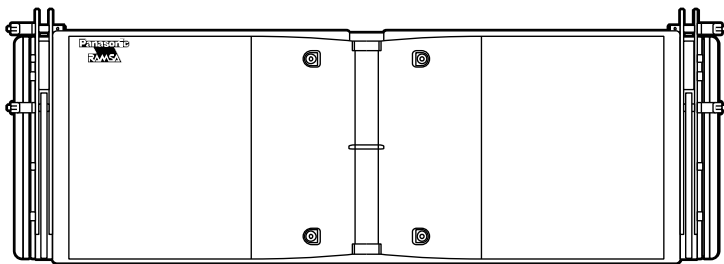
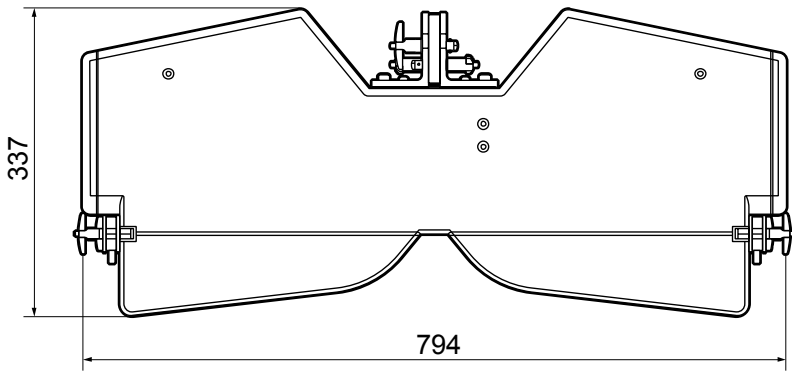
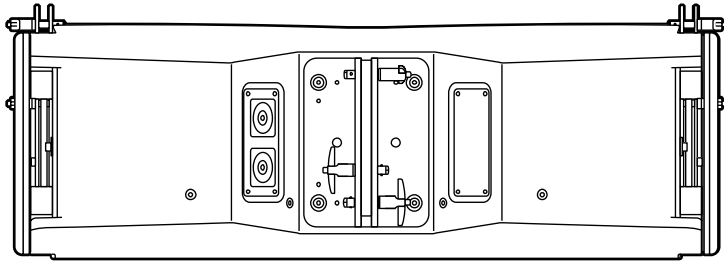


■備考

- クイックリリースピン（サイド用、φ8 mm） 4本（本体に取付済）
- クイックリリースピン（リア用、φ10 mm） 2本（本体に取付済）
- サイドヒンジ（サイド用） 2個（本体に取付済）
- リアヒンジ（リア用） 1個（本体に取付済）

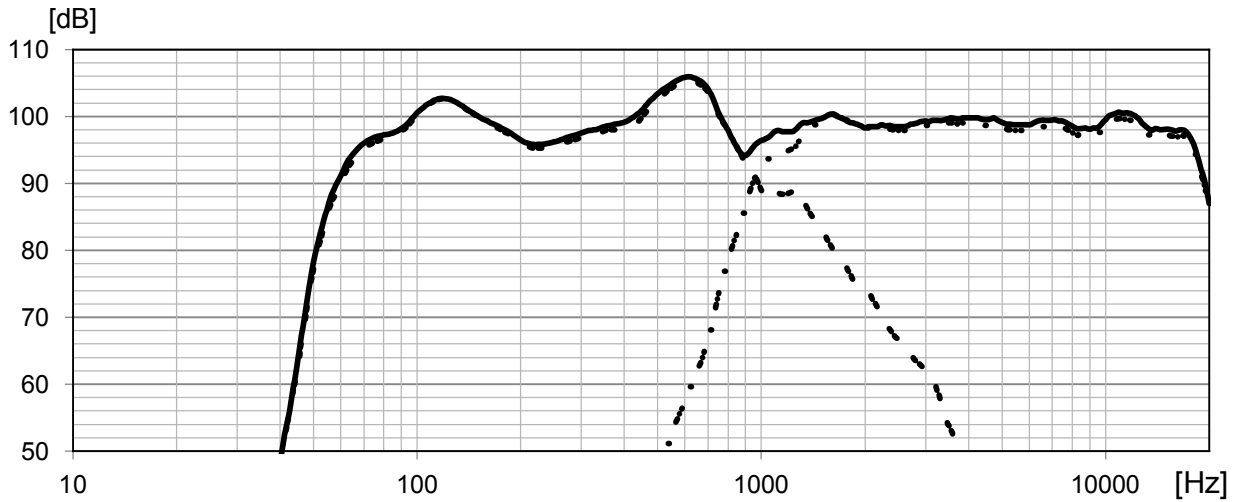


■外觀寸法図 (単位 : mm)

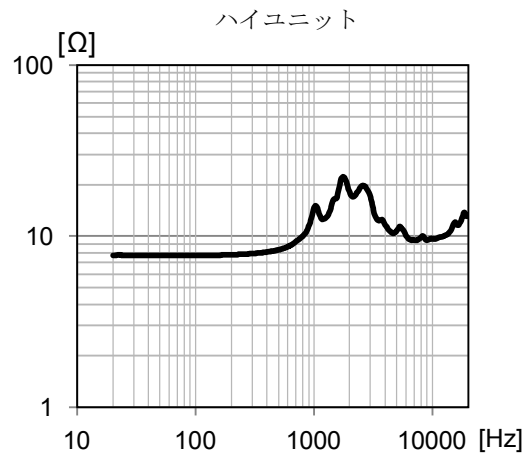
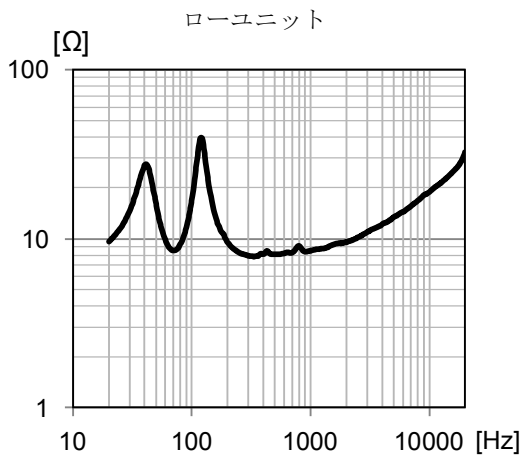


■ 伝送周波数特性

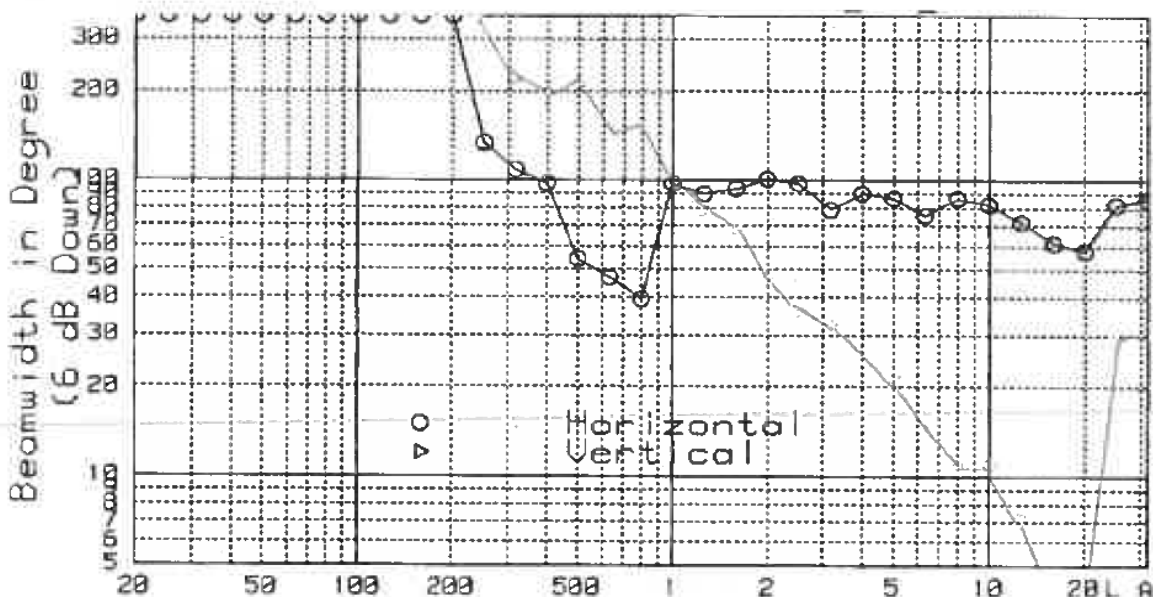
※推奨クロスオーバー周波数、パラメトリックイコライザ設定時の伝送周波数特性（単体特性）
各ユニットの DSP へ、ロー：1 W、ハイ：1 W 相当を入力



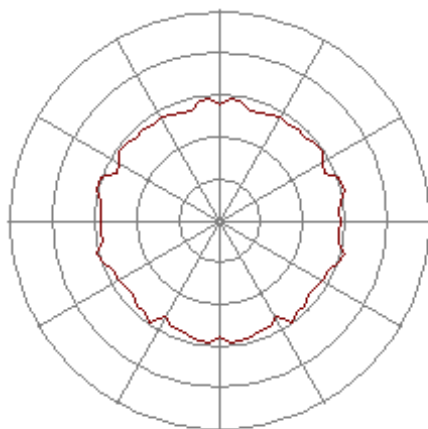
■ 各ユニットのインピーダンス特性



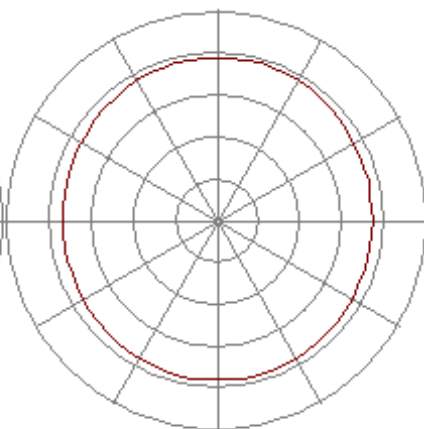
■ 指向角度特性



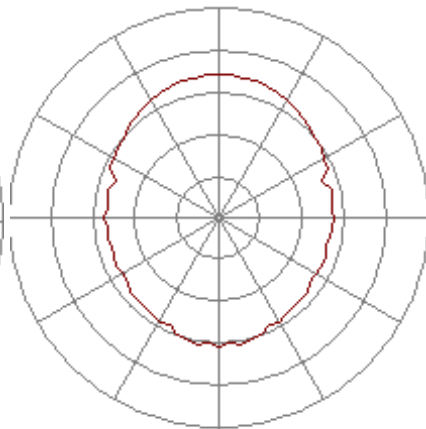
■ポラーパターン (水平指向特性)



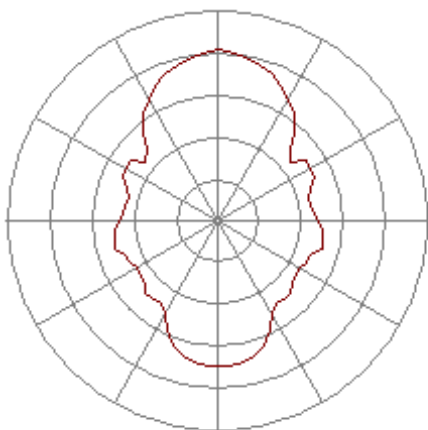
63 Hz



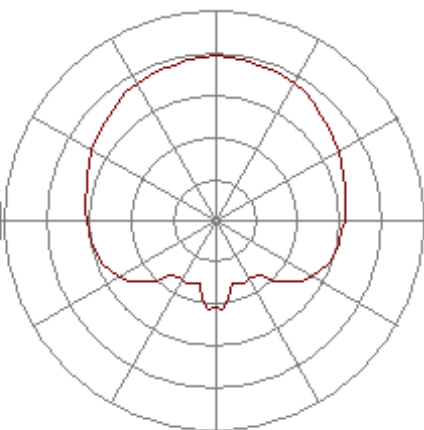
125 Hz



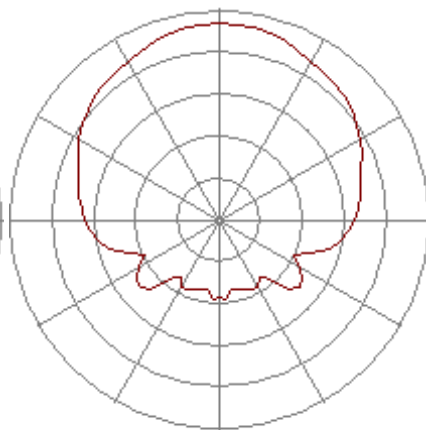
250 Hz



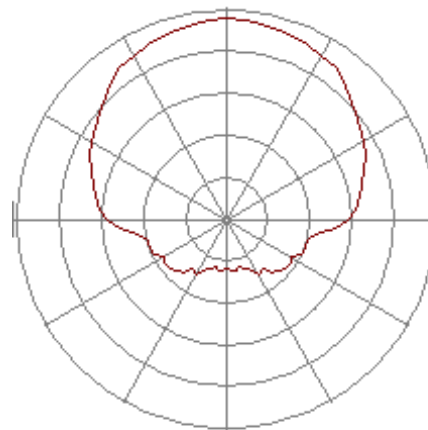
500 Hz



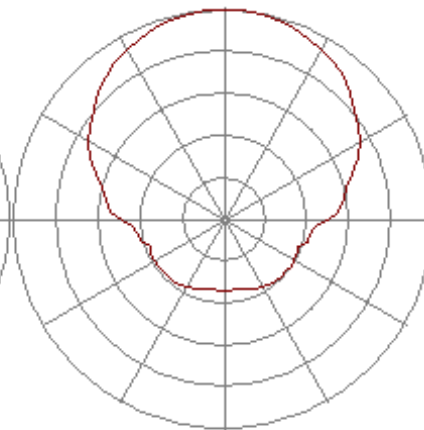
1 kHz



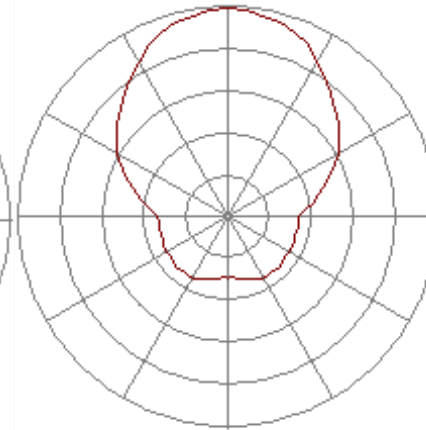
2 kHz



4 kHz

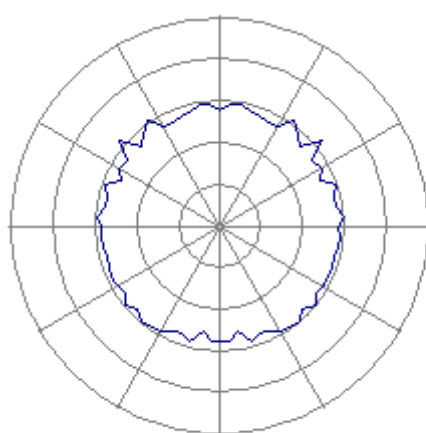


8 kHz

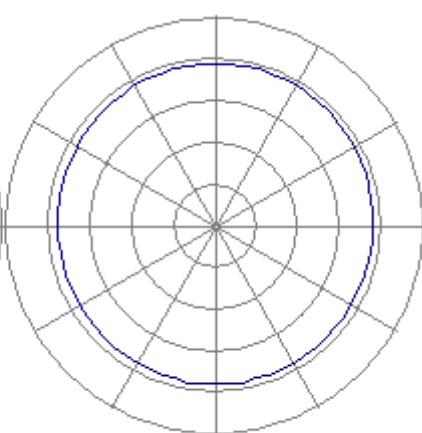


16 kHz

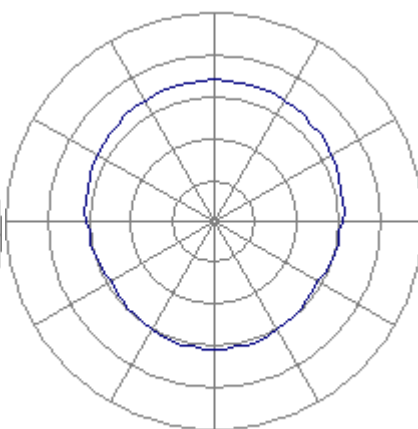
■ポラーパターン (垂直指向特性)



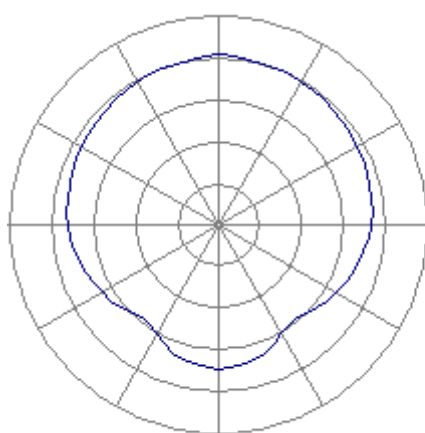
63 Hz



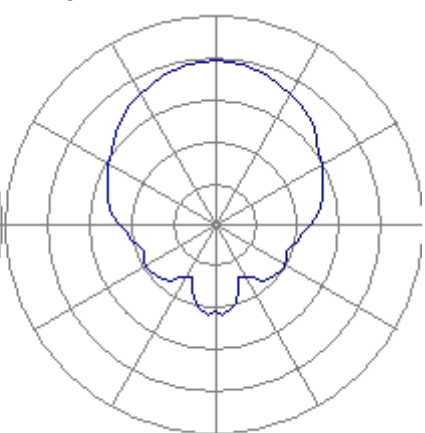
125 Hz



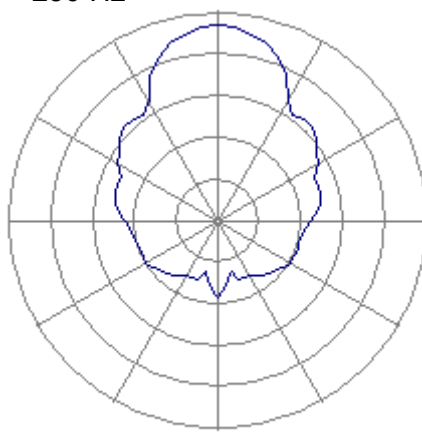
250 Hz



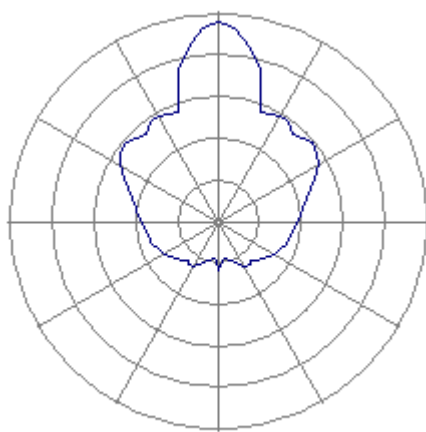
500 Hz



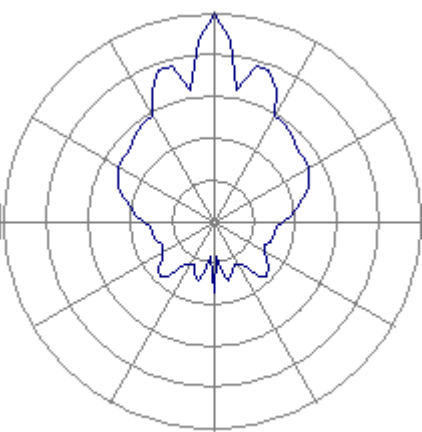
1 kHz



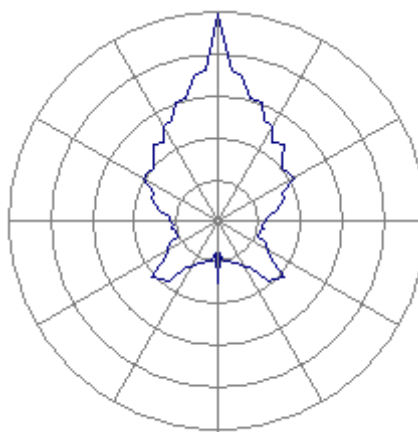
2 kHz



4 kHz



8 kHz



16 kHz

■推奨クロスオーバー周波数、推奨パラメトリックイコライザー

○推奨クロスオーバー (Xover) 周波数

| | ロー (WS-LA550AWPを使用しない場合) | | ロー (WS-LA550AWPを使用する場合) | | ハイ | |
|----------|-----------------------------|----------------|----------------------------|----------------|----------------|-----|
| | 低域側 | 高域側 | 低域側 | 高域側 | 低域側 | 高域側 |
| Xover周波数 | 60Hz | 1000Hz | 90Hz | 1000Hz | 1kHz | — |
| フィルタタイプ | Linkwitz-Riley | Linkwitz-Riley | Linkwitz-Riley | Linkwitz-Riley | Linkwitz-Riley | — |
| スロープ | 12dB | 24dB | 24dB | | 24dB | — |
| デレイ | 0.0 msec | | 0.0msec | | 0.08msec | |
| 位相 | Normal | | Normal | | Normal | |
| ゲイン | 10 dB | | 10 dB | | -12 dB | |

○推奨パラメトリックイコライザー (PEQ)

ローユニット

| | 周波数[Hz] | ゲイン[dB] | Q |
|------|---------|---------|-----|
| PEQ1 | 90 | 2.0 | 2.0 |
| PEQ2 | 330 | -8.0 | 0.8 |
| PEQ3 | 800 | 2.0 | 6.0 |
| PEQ4 | 800 | 2.0 | 2.0 |
| PEQ5 | 820 | -3.0 | 8.0 |
| PEQ6 | 900 | -8.0 | 3.0 |
| PEQ7 | 1200 | 9.0 | 8.0 |
| PEQ8 | 1550 | -6.0 | 4.0 |
| PEQ9 | 4000 | -10.0 | 2.5 |

ハイユニット

| | 周波数[Hz] | ゲイン[dB] | Q |
|------|---------|---------|-----|
| PEQ1 | 1000 | 3.0 | 2.0 |
| PEQ2 | 1500 | 3.0 | 5.0 |
| PEQ3 | 4500 | -4.5 | 0.4 |
| PEQ4 | 5000 | -3.0 | 5.0 |
| PEQ5 | 10000 | 4.0 | 0.5 |

※上記の PEQ は、単体時でのスピーカー基本イコライザーです。ラインアレイシステムとして、複数台のスピーカーを使用する場合は、キャビネット数や角度に応じて、上記に対して別途適切なシステムイコライザーを与える必要があります。詳細は、システムコンフィギュレーションに依存しますので、販売店へお問い合わせください。